

# PCSA / 第9期第1回臨時社員総会

## 第34回経営勉強会

8月19日 / 東京都中央区 銀座フエニックスプラザ

「全ホールで平成23年4月1日より禁煙もしくは完全分煙を完了するための行動を始める」と「PCSA提言」を承認、5団体へ要望

「全ホールで平成23年4月1日より禁煙もしくは完全分煙を完了するための行動を始める」と「PCSA提言」を承認、5団体へ要望

PCSA一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会、代表理事/加藤英則氏は、本年5月開催の総会以降、初めてとなる臨時社員総会と経営勉強会を開催。冒頭、加藤代表理事は以下の要旨で挨拶。「私が代表理事の重責を担うことになってから、初」の臨時総会と勉強会。猛暑が続く今夏、先のお盆の業績について各方面から漏れ聞こえてくる情報や自店の業況から察するに「あまり良くなかった」というのが現状。特に4円パチンコが著しく冷え込んで、しかも期待のビッグタイトルを大量に導入しても安定した客付きを維持できない状況にある。これは「何を意味するか」というと、つまり「国民の求める娯楽と我々業界側

の供給感覚が必ずしも一致しているとは言えない」という点の最たるものを表しているのではないかと判断。ここを是正していかなないと、業界の発展はないと痛切に感じている。第2部の経営勉強会の中では、「何か一つでも実になれば」と思っているのが皆様の経営に反映させていたきたい。臨時社員総会での審議・報告事項は以下の通り。

①「新入会員入会承認」の件（賛助会員申込企業1社のミキ・エンタープライズ（株）の入会を承認。代表者は林芳樹氏で本社は神奈川県横浜市。事業内容は、パチンコ店向けの人材派遣、イベント企画、デザイン事業。）②「PCSA提言（案）」承認の件

完全分煙化の取り組みのお願い」としてホール5団体等に向け独自の提言でアピール。「平成23年4月1日より、禁煙もしくは完全分煙化を実施するための行動を始める」など、取り組み3点を主張。ホール側のメリットやデメリットについても明示しPCSAからの要望として提言。③「第35回PCSA公開経営勉強会」に関する件（今秋11月に予定する公開勉強会でのタイトル「エブリデー・ローコスト」による環境配慮型ホール創り」、講師「環境経営戦略総研・村井哲之代表取締役社長」、他、講演の骨子について承認。）④「PCSA DATA BASE 2011」報告⑤「10月拡大理事会・ストアコンパリゾン神戸

開催」報告⑥「PCSA海外研修・9月23～26日上海・杭州視察」報告⑦「自民党元参議院議員・秋元司氏PCSA経営相談室委員就任」報告（今年7月の第22回参議院選挙で87、948票で惜敗した秋元氏へ今年8月1日より1年間、コンサルタント業務契約書締結のもとに依頼。協会主催の経営勉強会やセミナー及び研究部会等の講師、その他の情報提供、協会運営にかかる指導等が活動内容。報酬は月額10万円支給。協会が求める会合への出席が業務形態となっている。）

その他、人事問題・コスト問題・法律問題・不正対策など各研究部会の各リーダーから資料に基づいた詳細な活動報告が行われた。注目の「消費税見直し研究会」の活動報告も行われた。第3回となる「PCSA MEDIA AWARD」表彰式では、II回目の受賞となる娯楽産業協会・鳥津幸弘編集長が登壇。加藤代表理事から表彰状及び記念品が贈呈され、鳥津氏が答礼を。

は、「パチンコ依存問題・電話相談の現場から」と題し、特定非営利活動法人リカバリーサポート・ネットワーク（RSN）の西村直之代表が講師としてレクチャー。「相談開始以降、年々10%ほど増えている。しかし今年の夏は何故か件数が100件を割り込んだ。地方によっては雨が続いたなどの影響かとも思ったが、どうやら「貸金法」が改正になったのが大きな原因だろう、と判断。冬場など、ホールの稼働が下がると大体、相談件数も下がる。一番、象徴的と言えるのが依存問題を抱える本人が直接、相談して来るケースが多いこと。これはアルコール等の場合を考えた時、非常に稀な例で、しかも依存の被害が出る当該施設（パチンコ店舗）自身に、依存を抑制するための啓蒙告知（トイレのチラシやポスターなど）があるケースも珍しく、依存問題では日本でも世界でも、こうした例はパチンコ業界だけ」と強調。

この後、「不況は商人を鍛える」をテーマに（株）商人舎の結城義晴代表取締役社長（PCSA経営アドバイザー）が講演。師と仰ぐベガスクラブ主宰の渥美俊一氏が去る7月21日に逝去したため、「門下生」的立場から師の残した膨大な体験談や今に息づくチェーンストアの近代化理論について精力的に熱弁を振るった。「商業復権」「経営戦略」や「商品と仕入れ（マス・マーチャング）」「店舗」「マネジメント」「経営数値」などの各項目ごとに、故渥美氏が展開したチェーンストア経営原則について詳細説明。「マネジメント」の「組織」のカテゴリーの中で、一般商業界では実効を上げる「5職能」に注目し、最近ダイナムHDでは業界に先駆けてこの5つの職能（分業）を採用。先進的経営を既に実践している。経営数値では、総資本の尺度（ROAによる経営）こそが最も重要」と強調。独自の分析力を柱とした理論展開により、文字通り熱の籠ったレクチャーで会場の聴講者に「喝」を入れた。

第II部の経営勉強会で